

1. 授業の概要(ねらい)

「中国美術の歴史－故宮博物院の文物を中心に－(2)」
北京と台北の故宮博物院は、中国4000年の歴史をものがたる、文化財の宝庫です。この授業では、春期にひきつづき、双方が所蔵する名品を映像で鑑賞しながら、中国の文化・歴史・社会の本質をかんがえていきましょう。

2. 授業の到達目標

- 1、美術を中心とする、中国の通史が理解できる。
- 2、中国における、文化財の政治的意義が理解できる。

3. 成績評価の方法および基準

複数回の小テスト(計)60%、中間テスト20%、最終テスト20%

4. 教科書・参考文献

参考文献

板倉聖哲ほか 『NHKスペシャル故宮一流転の名品を知る 美を見極める』(2014年) NHK出版
野嶋 剛 『故宮物語－政治の縮図、文化の象徴を語る90の話』(2010年) 勉誠出版

5. 準備学修の内容

参考文献は図書館の指定図書にもしておきましたので、授業期間中に各自一読しておくこと。

6. その他履修上の注意事項

授業時間中の私語はやめてください。30分以上の遅刻や履修態度不良の場合には、厳重に注意します。とくに映像上映中は、ほかの履修者の迷惑にならないよう、各自気をつけてください。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス、NHKスペシャル「故宮7 大唐の落日－唐・五代－」(1)
巨大王朝の衰退は、中国に何をもたらしたか？
- 【第2回】 「故宮7」(2)
洗練と退廃の美
- 【第3回】 「故宮8 夢の都・開封－北宋－」(1)
貴族制から官僚制へ
- 【第4回】 「故宮8」(2)
風流天子・徽宗
- 【第5回】 「故宮8」(3)
宋朝の没落、中間テストの説明
- 【第6回】 中間テスト、「故宮9 美は江南にあり－南宋－」(1)
周辺からの圧迫と長江流域の開発
- 【第7回】 「故宮9」(2)
「中国らしさ」の形成
- 【第8回】 「故宮10 亡国の文人たち－元－」(1)
モンゴルの功罪
- 【第9回】 「故宮10」(2)
民間文化の開花
- 【第10回】 「故宮11 紫禁城風雲録－明－」(1)
政治的混沌
- 【第11回】 「故宮11」(2)
文化的爛熟
- 【第12回】 「故宮12 最後の王朝－清－」(1)
少数民族の苦闘
- 【第13回】 「故宮12」(2)
乾隆帝の偉業
- 【第14回】 「故宮12」(3)
文物の集大成、最終テストの説明
- 【第15回】 まとめと最終テスト